

ABBYY® FineReader® PDF 16 Standard

ABBYY® FineReader® PDF 16 Corporate

ABBYY® FineReader® PDF for Mac®

	Standard	Corporate	for Mac
ユーザーエクスペリエンスと生産性			
PDFやスキャンされた文書、紙の文書を管理する上で、デジタルワークスペースの生産性を向上させるソフトウェアです。 次の作業が可能です：編集、保護、共有、共同作業、変換、比較、デジタル化、検索	+ 比較対象外	+	
あらゆる種類のPDF、紙文書、およびその画像を編集可能なフォーマットや検索可能なPDFに変換する生産性向上ソフトウェア	+	+	+
使いやすいインターフェイス	+	+	+
タブ型インターフェイス	+	+	
スタート画面でよく遭遇するシナリオのための素早いタスクショートカット	+	+	+
ビルトイン型のスキャン用インターフェイスを用いることで、紙の文書を直接スキャンし、そのデータの編集や変換を行うことが可能	+	+	+
効率的なマルチコアプロセッサを活用し、ページ数の多い文書のハイスピード変換	+	+	+
情報アクセスの基準を遵守（米国のリハビリテーション法第508条）	+ VPATフォーム	+ VPATフォーム	
高解像度モニター対応	+	+	+
FineReader PDF Mobile appとの統合	+	+	
x64 Windowsプラットフォームに対応した64ビットのアプリケーション	+	+	
Microsoft® Officeアプリとの統合（Outlook、Word、Excel、PowerPoint）	+	+	
ダークモード対応			+
連係カメラ対応			+
プラットフォーム（操作システム）	Windows	Windows	macOS

PDFの編集、保護、共同作業

PDFの編集および整理

閲覧

PDFファイルを開き、閲覧： ページ、添付ファイル、メタデータ、コメントなど	+	+	+ ページとメタデータのみ対応
閲覧の際のページ拡大・縮小	+	+	+ 拡大のみ
Windows® ExplorerおよびMicrosoft® OutlookでのPDFのフルドキュメントプレビュー	+	+	

	Standard	Corporate	for Mac
デフォルト設定	+	+	+
多様なPDF閲覧モード： フルスクリーン、1ページあるいは2ページ（サイドバイサイド）の閲覧、ページごとの閲覧（ページバイページ）、あるいは縦スクロールから閲覧モードが選択可能	+	+	+
ページ番号、サムネイル、ブックマーク機能を使用したPDFナビゲーション	+	+	+ ページ番号のみ対応
FineReader PDF Mobile app ¹ で作成した文書画像やPDFファイルの開封	+	+	
テキスト内の自動URL（リンク）検出機能	+	+	
検索			
あらゆる種類のPDFファイル内にあるテキスト検索機能。この機能では、背景認識を用いているため、スキャンされたPDFデータにも活用可能	+	+	
PDFデータのあらゆる構成部分を検索可能： 本文、コメント、ブックマーク、およびメタデータ	+	+	
編集および調整			
あらゆる種類のPDFファイルの編集： スキャン、検索可能、デジタル	+	+	
1行ごとに読み直しながら、段落内のテキストが編集可能	+	+	
キーワードを指定して、PDF内のテキストを検索・置換が可能	+	+	
変換せずに、PDFファイルのページレイアウトの編集も可能： ページ内に、まとまった文章や写真の移動、挿入	+	+	
表の中のセルを個別に編集可能	+	+	
PDFファイルに新しい文章を挿入可能	+	+	
段落内のテキストのフォーマットの設定し直しが可能： フォント、サイズ、スタイル、行間のスペース、アラインメント、色、そして文章を記入する方向を設定	+	+	
文書内にハイパーリンクや内部リンクの作成や編集が行えます。この作業は、手動でもURLの自動検出機能でも実行可能	+	+	
ファイル内のページや特殊な位置あるいはフレーズに、ブックマークを作成、削除、ブックマークの名前の変更	+	+	
PDFファイル内で検出された画像を用いて作業可能： 削除、サイズの変更、移動、回転、あるいは新しい画像の挿入	+	+	
背景カラーの自動検出機能を搭載しているため、「消しゴムツール」を用いることで、画像の一部やページ内のあらゆる部分を消去	+	+	
画像の歪み、解像度、およびページの向きの補正もでき、画像が含まれるページを改善	+	+	
メタデータの管理： 著者名やキーワードなどの文書のプロパティの追加、編集、削除	+	+	
添付データを用いた作業： 閲覧、追加、名前の変更、削除、あるいはファイルごとに分割して保存	+	+	
ヘッダーやフッターの追加	+	+	
透かしの追加や削除	+	+	

	Standard	Corporate	for Mac
PDFファイル内の文書への番号付け	+	+	
スタンプの追加、作成、管理	+	+	
PDFファイルのサイズを最適化するためのMRC圧縮の適用	+	+	
画像のみのPDFデータ（例：スキャンデータなど）に、テキストレイヤーを追加	+	+	
PDFドキュメントをファイルサイズ、ページ数、またはブックマークで分割	+	+	
ページの管理			
ページごとの管理：ページの再調整、追加、あるいは削除。手動でも自動でも、ページごとの入れ替えを行うこともスキャンされたページの向きを修正することも可能	+	+	
ページの追加：白紙やその他の文書（PDF、画像、Microsoft® Office文書など）、あるいはスキャナからの文書データ	+	+	
画像の傾き、解像度、およびページの向きの補正もでき、画像が含まれるページを改善	+	+	
ページの切り抜き	+	+	
PDFのページを管理・再編成するためのツール「Organize Pages（ページ管理）」	+	+	
白紙ページの自動検出	+	+	
検出された白紙ページの確認と削除	+	+	
コンテンツの抽出			
デジタル化されたPDF文書内からテキストをコピー	+	+	+
テキスト、画像、あるいは表テーブルを直接コピー可能。この機能は、スキャンされたPDFデータ、検索可能なデジタル化されたPDFファイルに対応、原文のフォーマットや構造を保存	+	+	
表テーブルをコピーする前に、表テーブルのセパレータを調整可能（移動、追加、あるいはセパレータの削除、セルの統合や分離）	+	+	
フォームへの記入			
インタラクティブPDFフォームへの記入	+	+	
フォーム内の記入欄にデジタル署名やファクシミリサインを挿入	+	+	
フォームの各記入欄からPDFデータのインポートやエクスポート（.fdfファイルの使用）	+	+	
印刷			
PDF文書の印刷は、コメント付き、コメントなしのいずれでも可能	+	+	+ コメントがないもののみ
PDFの共同作業および承認			
閲覧、追加、削除、そしてPDF内のコメントを直接管理	+	+	+
ハイライト、下線、打ち消し線機能を使ってテキストをマーキング、あるいはツールの挿入	+	+	+ ハイライトのみ
メモ機能やテキストボックスやペイントツールを利用して画像、チャート、キャプションなどのマーキング	+	+	+ 注釈のみ
テキスト検索や検索結果のマーキングもワンクリック	+	+	
新しいコメントを追加したり、既存のコメントへの返信可能	+	+	+

	Standard	Corporate	for Mac
コメントヘステータスを割り当てる（「了解」、「拒否」、「中止」あるいは「完了」など）	+	+	
コメントの並び替えとフィルター（著者、タイプ、日付、フラグのステータス、あるいはコメントのステータス）	+	+	
SharePointとの統合：チェックイン/チェックアウト	+	+	
電子メールによるPDFファイルの送信	+	+	
AirDrop、メール、iCloudなどでPDFを共有			+

PDFの保護および署名

コンテンツへのアクセス（例：閲覧、編集、印刷、テキストやその他コンテンツのコピーなど）を制限するためにパスワードを設定し、PDFファイルを保護	+	+	+ PDFへの変換を介してのみ
40-bit RC4、128- あるいは256-bit AES暗号化に対応	+	+	
デジタル署名の記入	+	+	
PDFファイルが開かれる時に、デジタル署名によって自動的に認証	+	+	
LTV電子署名（DocuSignなど）に対応	+	+	
PINで保護された電子証明書（スマートカード）に対応	+	+	
電子署名向けのSHA256、SHA384、SHA512、MD5暗号化アルゴリズムに対応	+	+	
電子署名向けのタイムスタンプサーバーの選択	+	+	
電子署名の表示項目の調整（理由、場所、連絡先、日付、所有者情報、アプリケーションのバージョン）	+	+	
PDFファイル内の機密情報や個人情報の編集	+	+	
わずか数回のクリックで、文書ファイル全体の中からキーワードを検索し、編集（文書内のテキスト、コメント、メタデータなど）	+	+	
あらかじめ定義されたキーワードリストによるキーワードの検索・訂正	+	+	
OCRにより追加されたテキストレイヤー、コメント、注釈、添付書類、ブックマーク、メタデータ、リンク、メディア、アクション、スクリプト、フォームデータなどの隠れた情報も、ワンクリックで削除	+	+	
GDPR（EU一般データ保護規則）を遵守	+	+	+

PDFの作成および変換

PDFファイルの作成

Microsoft® Office文書、PDFファイル、画像ファイルおよびその他のフォーマットのファイルからPDF、PDF/A、PDF/UAを作成することが可能：	+	+	+
	PDF, TIFF, JPEG, JPEG 2000, JBIG2, PNG, BMP, PCX, GIF, DjVu, XPS, DOC(X), XLS(X), PPT(X), VSD(X), HTML, RTF, TXT, ODT, ODS, ODP, SVG	PDF, TIFF, JPEG, JPEG 2000, JBIG2, PNG, BMP, PCX, GIF, DjVu, XPS, DOC(X), XLS(X), PPT(X), VSD(X), HTML, RTF, TXT, ODT, ODS, ODP, SVG	PDFと画像 (TIFF, JPEG, JPEG 2000, JBIG2, PNG, BMP, GIF) からのみ
PDF、PDF/A、PDF/UA文書を、Microsoft® Word、Excel、PowerPointから直接作成	+	+	
Microsoft® Outlookのメール、添付ファイル、およびフォルダからPDFを作成	+	+	
Microsoft® WordやExcelから直接PDFを作成し、メールで送信	+	+	
スキャンしてPDFファイルへ（検索可能なPDFファイルも含む）	+	+	+

	Standard	Corporate	for Mac
PreciseScan技術を用いて、スキャンされたPDFファイルの見やすさも改善	+	+	
対応しているフォーマットから、Windows® Explorer内で直接PDFファイルを作成可能	+	+	
白紙のPDFファイル作成	+	+	
検索可能なPDFファイルとして保存（対応モード：画像下のテキスト、画像上のテキスト、そしてテキスト付きの写真）	+	+	+ 変換を介してのみ
文書内の表題の検索に基づいて、検索可能PDFデータ内にブックマークを自動作成	+	+	
画像専用PDFファイルとして保存	+	+	+ 変換を介してのみ
多数のMicrosoft® Office文書やPDFファイル、画像ファイルやその他のファイルをひとつのPDFファイルに統合	+	+	+ PDFおよび画像、 変換を介してのみ

入力可能なPDFフォームの作成

白紙の文書、または既存のPDFに要素を追加することで、PDFのインタラクティブフォームを作成	+	+	
サポートされているインタラクティブフォームの要素: テキストフィールド（複数行を含む）、日付、ドロップダウンリスト、ラジオボタングループ、チェックボックス、署名フィールド、アクションボタン	+	+	
インタラクティブ PDF フォームの編集: 要素の追加、複製、削除、ページ上での要素の配置変更、調節、サイズ、外観、プロパティの変更	+	+	
デフォルトのフィールドプロパティを設定	+	+	
読み取り専用フィールド、必須フィールド	+	+	
作成したフォームに未承認の変更が実施されることを防ぐためのパスワード保護	+	+	
サポートされているアクション: PDF、HTML、XFDFとしてメールに送信、ファイルを開く、ウェブリンクを開く、フォームをリセット、ページに移動、JAVASCRIPT を実行など多数	+	+	

PDFファイルの変換

PDFファイルをMicrosoft® Officeやその他の編集可能なフォーマットへ変換	+ DOC(X), XLS(X), PPTX, HTML, RTF, TXT, CSV, ODT	+ DOC(X), XLS(X), PPTX, HTML, RTF, TXT, CSV, ODT	+ DOCX, XLSX, PPTX, HTML, RTF, TXT, CSV, ODT
PDFファイルを電子書籍のフォーマットへ変換	+ EPUB, FB2	+ EPUB, FB2	+ EPUB, FB2
PDFファイルをその他のフォーマットへ変換	+ DjVu	+ DjVu	
インテリジェントPDFファイル変換（テキストレイヤーのクオリティを自動検出し、フォームの記入欄やテキストの記入欄から文章を抽出）	+	+	

マルチPDF処理プロセス

多数のPDF文書を同時に処理: <ul style="list-style-type: none"> PDF/A、PDF/UA、あるいはタグ付けされたPDFファイルの作成 MRC圧縮を用いてファイルのサイズを縮小 スキャンされたPDFファイルの見やすさを改善 パスワードによる保護の設定 非表示データの削除 メタデータの削除 対応している編集可能なフォーマットに変換 	+	+	
処理時に、複数のPDF文書をひとつに統合	+	+	

さまざまなフォーマットの文書比較

Standard

Corporate

for Mac

差分の検出

2つの同じ文書を比較し、正確に変更箇所を検出します。この比較は、さまざまなフォーマットのデータで行うことができます： スキャン、画像、PDF、そしてテキスト文書の中から2つを選択

+
PDF, TIFF, JPEG,
JPEG 2000, JBIG2,
PNG, BMP, PCX,
GIF, DjVu, XPS,
DOC(X), XLS(X),
PPT(X), VSD(X),
HTML, RTF, TXT,
ODT, ODS, ODP

複数の言語を併用した文書の比較

[比較機能は40言語
に対応](#)

文書に用いられている言語の自動検出

+

本文やヘッダー、フッター、あるいは番号などにある差異を見つけ出すことが可能

+

インタラクティブPDFフォームやPDFファイルのテキストボックス欄に記入された情報の変更箇所を検出

+

作成中の文書とそのPDFやスキャンしたコピーを、Microsoft® Wordから直接比較*

+

*文書比較機能は日本語未対応

変更箇所のレビュー

次のような変更箇所を表示します： 削除されたテキスト、追加されたテキスト、置き換え、そして句読点の挿入

+

1文字や句読点ひとつのわずかな違いの検出機能は、比較前にオフ

+

同時に2つの文書を並べて文脈内の変更箇所を確認し、比較

+

変更履歴一覧を使うことで複数ページの文書内での変更箇所を簡単にレビューができ、ナビゲーションすることが可能

+

関係性のない差異は、比較結果を保存する前にマニュアル操作で削除

+

結果の保存と共有

変更した文書を、Microsoft® Wordファイルの変更履歴の記録モードで保存可能

+

変更箇所がテキスト内にマーキングされコメントを挿入された状態で、PDFファイルとして文書を保存することも可能

+

変更履歴一覧を独立した表にしてMicrosoft® Word文書に保存可能

+

OCRを使った文書のデジタル化やスキャン

OCRと文書の変換

文書 (OCR) 内の対応言語数:

198

198

198

— そのうち、辞書サポートに対応している言語:

53

53

53

OCRの精度は最大:

99.8%²

99.8%²

99.8%²

多言語文書の認識

+

+

+

	Standard	Corporate	for Mac
文書に用いられている言語の自動検出：全ての辞書サポート 対応言語（アジア圏の言語を除く）	+	+	
文書分類を伴う自動の前処理	+	+	
保持される文書のレイアウトには、段落、画像、表テーブル、 背景画像およびバーコード	+	+	+
フォントの種類とスタイルの保持	+	+	+
縦書き、色付き、逆さ読みのテキストの段落を保持	+	+	+
ADRT® (Adaptive Document Recognition Technology®) を活用し、複数ページの文書のオリジナルの構造を保持。 構造：ヘッダー、フッター、脚注、テキスト欄、番号リスト、 表題構造、ページ間のテキストフロー	+	+	+
箇条書きを作成し、ネイティブMicrosoft® Wordリストに 変換して番号付与	+	+	+
ハイパーリンクの保持。リンク先を検出し、それらを正しい ハイパーリンクに変換	+	+	+
1-Dおよび2-Dバーコードの認識	<u>対応している バーコード</u>	<u>対応している バーコード</u>	
白紙ページの自動検出	+	+	
検出された白紙ページの確認と削除	+	+	

画像の取り込み

ビルトイン型のスキャン用インターフェースを使って、 FineReader PDFから紙の文書を直接スキャン：調整可能 なスキャンの設定	+	+	+
コンピュータに接続したスマートフォンやデジタルカメラから 取り込んだ紙の文書の画像を、直接FineReader PDF内で 開封	+	+	+
クラウドストレージ*1を介したFineReader PDF Mobile appとの統合により、文書の画像やPDFを取得可能	+	+	
TWAINやWIAの互換性がある画像用デバイスに対応	+	+	
ICA互換イメージングデバイスに対応			+

編集可能なフォーマットに変換

文書の画像やスキャン、そしてPDFを変換：	+	+	+
	PDF (2.0あるいは、 それ以前のバージョン)、TIFF、JPEG、 JPEG 2000、JBIG2、 PNG、BMP、PCX、 GIF、DjVu、XPS	PDF (2.0あるいは、 それ以前のバージョン)、TIFF、JPEG、 JPEG 2000、JBIG2、 PNG、BMP、PCX、 GIF、DjVu、XPS	PDF (2.0あるいは、 それ以前のバージョン)、TIFF、JPEG、 JPEG 2000、JBIG2、 PNG、BMP
変換結果を編集可能なフォーマットとして保存：	+	+	+
	DOC(X)、XLS(X)、 PPTX、HTML、RTF、 TXT、CSV、ODT	DOC(X)、XLS(X)、 PPTX、HTML、RTF、 TXT、CSV、ODT	DOCX、XLSX、 PPTX、HTML、RTF、 TXT、CSV、ODT
PDF、スキャンした文書、撮影した文書をMicrosoft® Wordで直接開いて編集可能（OCRを使用）	+	+	
紙の文書をスキャンしてMicrosoft® Wordに直接取り込み、 編集可能（スキャン機器が必要、OCRを使用）	+	+	
文書のフォーマットを保持するプロファイルを利用 （DOC(X)、ODT、RTFへの変換の場合）：編集可能な コピー、正確なコピー、フォーマット化されたテキストある いはプレーンテキスト	+	+	+
ヘッダー、フッター、画像などを保持または削除	+	+	+

	Standard	Corporate	for Mac
同じ設定を利用して、複数の文書を同時に編集可能なフォーマットに変換	+	+	+
変換時にそれぞれ独立したファイルをひとつの文書にまとめる	+	+	+
デジタルアーカイブのために文書を準備			
検索可能なPDFファイルにデジタル化	+	+	+
長期の保管に向けて、ISO標準のPDF/A (1a, 1b, 2a, 2b, 2u, 3a, 3b, 3u) にデジタル化	+	+	+
情報へのアクセスに関するコンプライアンスを遵守するためにPDF/UAにデジタル化も可能	+	+	+
MRC圧縮を用いて、20分の1 ² までPDF文書のサイズを縮小	+	+	+
同じ設定を利用して、アーカイブ化するために複数の文書を同時に準備	+	+	
高度な変換機能			
認識範囲の検出			
文書範囲の自動検出 (テキスト、表テーブル、画像、背景画像およびバーコード)	+	+	+ バーコードを除外
認識範囲の境界線をマニュアル操作で調整する。認識範囲のタイプも変更可	+	+	+
個々の認識領域のプロパティを指定	+	+	+ テキストエリアのみ
表テーブルのセパレータの追加、削除、移動。表テーブル内のセルの統合および分割	+	+	+
テキストの向き、言語、反転、画像コンテンツといった、個々のテーブルセルのタイプとプロパティを指定	+	+	
認識したテキストを書き出すことなく、各領域からコピー可能	+	+	+
認識範囲の順序をマニュアル操作で調整し、アウトプットされる文書の中のコンテンツの順番を定義可能	+	+	
検証および修正の結果			
保存の前に行う認識結果のチェック、テキストフォーマットの修正、および文書全体のレイアウトの確認のためのテキスト編集	+	+	
保存の前に行う確認、変更、統合あるいはアウトプット用文書内のフォントスタイル作成のためのスタイル編集	+	+	
オリジナル文書内の不確実な文字や、辞書にない単語の素早いチェックを行い、保存の前にエラーを修正するための確認ツール	+	+	
両面スキャンや分割した本のページをスキャンした後に、ページの順番を整理し直すためのページ番号挿入ツール	+	+	
文書全体から間違いを修正するための検索・置換機能	+	+	
Microsoft® Word Custom Dictionaryを組み込むことで、特定の産業用の文書処理のためにカスタマイズされた単語リストの作成が可能	+	+	

スキャンおよび写真の前処理

スキャナやスマートフォンを使ってキャプチャされた画像の前処理に必要な機能セットが自動的に適用:

- ページの向きを検出
- 歪んだテキストの列を補正
- モノクロへの変換
- 2ページを分割
- ページの端を検出*
- 画像の傾き補正
- ページの背景を白くする*
- 画像解像度の補正
- ISOノイズの抑制*
- 色のマーキングの除去
- モーションブラーの除去*
- 色の反転
- 台形歪み補正*

*写真のために追加された前処理機能

+
画像の補正、
見開きページの分割、
ページ向きの検出のみ

より優れた正確性やビジュアルを確保するために、マニュアル操作で画像の処理が可能 (Image Editor内で可能):

- 画像を複数のページに分割
- 画像解像度の補正
- 背景の色やイルミネーションの補正
- ISOノイズの補正
- カラースタンプやカラーペンの削除
- 基本的なビジネス文書のための台形補正クロップ
- 手ぶれ画像の補正
- 画像の回転 (90°、180°、270°) および反転
- 明るさやコントラストの補正
- 各ページのクロップ
- レベルの調整
- 色の反転
- 消しゴムツール

+
背景処理、色補正、
レベル調整、色調反転
除く

ページ上の画像への補正は、次のページに適用: 全ページ、奇数ページ、偶数ページ、選択した1ページあるいは複数ページ

特殊なタスクのためにカスタマイズされた認識機能

カスタマイズされた辞書や言語を作成

装飾的な文字、抱き字やフォントなどを用いた標準化されていない文書を認識するために、パターントレーニングを活用します

エリアのテンプレートの作成、保存、再利用

インポートおよびエクスポート用オプションのセットアップ

OCR Editorに各ページを追加する際、自動ページ画像の前処理と認識の両方または片方だけオフにすることも可能

変換速度の調節: 状態の良い文書のため的高速モード、状態の悪い文書のために認識の正確性を最大限に高める精密モード

ヘッダーとフッター、写真などの要素の保存や検出をオフ

変換した文書の保存・開封

変換結果を、保存せずに、Word、Excel、PowerPoint、PDF Editor、クリップボード、Webブラウザで直接開くことができる機能を搭載

Standard

Corporate

for Mac

OCRプロジェクト

進行中の変換作業やその設定を保存。この保存は、OCRプロジェクトフォーマットが完了していなくても可能	+	+	+
さまざまなフォーマットのファイルから、OCRプロジェクトに文書を追加	+	+	+
OCRプロジェクト内でのページの並び替え、回転、削除	+	+	+
OCRプロジェクトを同僚と共有でき、より規模が大きな変換作業を共同編集可能	+	+	

デジタル化および変換ルーチンの自動化

Hot Folder³

監視するフォルダの作成：Hot Folderでモニタリングしているフォルダは、自動的に処理されます。この自動処理は、このフォルダにある対応しているフォーマット全てに対して実行		+	
ローカルドライブ、ネットワークドライブ、FTPサーバーに、ひとつあるいは複数の監視するフォルダを設定できます。このフォルダは、Outlookのメールボックスにも設定可能		+	
特定の時間に変換を開始するようスケジュールすることも可能（1度だけ、毎日、週に1度、月に1度）。 あるいは、常に監視を行うことも可能（新しいファイルを毎分ごとに確認する）。		+	
新しく受信した電子メールの添付ファイルを自動的に変換		+	
PDFファイル、画像（JPG、PNG、TIFFなど）およびスキャン文書（XPS、DJVUなど）が変換可能		+	
変換結果は、編集可能なフォーマット（DOC(X)、ODT、XLS(X)、RTF、PPTXなど）や検索可能PDFファイルや画像として保存できます。また、より高度な編集や確認のためにOCRプロジェクトとして保存することも可能		+	
文書の分割は、サブフォルダによってサポート		+	
文書の統合：すべてから1つへ、各サブフォルダから1つにまとめられます		+	
各監視フォルダのために、個別のHot Folderを利用するタスクの設定、稼働、および管理を実行		+	

自動化されたタスクのカスタマイズ

頻度が高い文書の変換を行うために、カスタマイズされた自動タスクを作成		+	
他のFineReader PDFユーザーとカスタマイズされた自動タスクを共有		+	

Command Line Interface (CLI)

ドキュメント変換または選択したパラメーターとの比較を実行し、選択したアプリケーションで結果を開くためのCLIコマンドのセット	+	+	
ドキュメントの変換または比較結果を選択したファイル形式 ⁴ に保存するためのCLIコマンドの拡張セット		+	

Standard

Corporate

for Mac

登録ユーザーのためのボーナス特典

ABBYY ScreenshotReader: スクリーンショットを撮影し、コンピュータ画面上のあらゆる領域にあるテキストを認識させることが可能

+

+

ABBYY FineReader PDF Mobile for iOS/Android: 外出先でも文書の取り込み、整理、OCRが可能

+

ライセンスの購入と導入

組織向けライセンス

+

+

+

ワークステーションやユーザーがLANを通じて使用しているライセンス管理を一元化するためのライセンスマネージャーツール

+

+

Active DirectoryやMicrosoft® SCCM、そしてコマンドラインを活用して、LANのなかの複数のワークステーションに自動のリモートデプロイメントを実行

+

+

一元化されたライセンス管理を行うことなく、LAN内の複数のワークステーションのデプロイメントを自動で稼働させることも可能

+

+

リモートユーザーのライセンスを発行し、デスクトップおよびアプリケーションの仮想化ソリューションをサポート

+

+

Microsoft Azureへのデプロイ

+

+

同時ライセンス

+

コンカレントライセンスにも対応した組織向けの追加アプリ「PDF Viewer」

+

+

グループポリシーオブジェクト (GPO) を使って FineReader PDFの設定をカスタマイズ

+

+

RPAソリューションでFineReaderPDFを使用するためのライセンス

+

WIXベースのインストーラー

+

+

対応しているアプリケーションとフォーマット

対応しているアプリケーションやフォーマットの一覧をご覧になりたい際は、FineReader PDFのサイトをご参照ください:

pdf.abbyy.com/ja/specifications/

+

+

pdf.abbyy.com/ja/finereader-pdf-for-mac/specifications

+

¹ 別途、モバイルアプリのABBYYFineReader PDFMobileが必要です。ファイル交換には、他社のクラウドストレージの使用が必要です。

² ABBYYによる社内検査によります。

³ Hot Folderは、1ヵ月に5,000ページを処理することができ(ページ数は、30日ごとに更新)、ドキュメントの変換に最大2 CPUコアを使用します。

⁴ 拡張CLI対応ライセンスには、期間とページの制限があります。詳細については、営業チームにお問い合わせください。